

平和のバトンをつなごう

～核兵器のない平和な世界を求めて～

問合せ先＝人権啓発課人権啓発係（☎ 28-9630）

学校や仕事に行くこと、食事をすること、家族や友人と過ごすこと。何気なく送っている平和な毎日は、かけがえのないものです。

1945年、日本は原子爆弾の投下によって甚大な被害を受け、多くの命が一瞬で奪われただけでなく、今も放射線被ばくでおおぜいの人が苦しんでいます。

今年には戦後76年の年です。戦争を経験した世代は年々減少し、戦争を知らない世代が増加しています。一方で、世界にはまだまだ多くの核兵器が存在し、再び私たちの「平和」が奪われる可能性は依然として残っています。

平和な生活を守るために私たちができることの一つは、「平和のバトン」を次の世代につないでいくことです。過去から戦争の悲惨さを学び、その悲劇を二度と繰り返さないよう、一人一人が平和の大切さを認識し、その記憶を後世へ伝えていきましょう。

「しばた平和のつどい」を開催しました

8月11日に「しばた平和のつどい」を開催しました。これは、本市が「核兵器廃絶平和都市宣言」を行っていることから、核兵器のない平和な国際社会が築かれることを願って、毎年開催しているものです。

今年度は、高校生平和大使の鈴木優花さんと、「平和のバトン ～広島の高中生たちが描いた8月6日の記憶～」(くもん出版、2019年刊行)の著者である弓狩匡純さんにお話ししていただきました。その内容を紹介します。



高校生平和大使
鈴木優花さん

核兵器をなくすことも、平和な世界をつくることも、人々とのつながりがあることで初めて達成できるものだと思います。

対話と信頼で平和を築く。そのために、高校生平和大使のローガンである「ビリョクだけどもリョクじゃない」を信じて、高校生平和大使として活動してきました。その経験を活かし、今後もさまざまな活動に取り組んでいきたいです。



弓狩匡純さん

戦後76年を経て被爆者の平均年齢は83.94歳に達しています。現在10代の皆さんは、被爆体験を直接伺える最後の世代です。上記の拙著で取り上げた広島の高中生たちは、「記憶」を油絵に「記録」する方法で、私たちが忘れてはならない歴史の継承を試みています。

被爆だけではなく、戦災、自然災害、事故も二度と繰り返さないために、後世に伝える意義があります。皆さんもそれぞれの方法で、未来の子どもたちにバトンを渡してあげてください。

また、皆さんは76年もの長きに渡り平和を享受してきた世界でもまれな「平和の申し子」です。平和の素晴らしさは、体験した人にしかわかりません。世界中で戦争や貧困によって、夢を見ることさえできない仲間たちに、平和の尊さを伝えてください。バトンは今、皆さんの手の中にあります。

高校生平和大使とは
全国から公募で選ばれ、核兵器の廃絶と平和な世界の実現を求めて、署名活動やジュネーブ軍縮会議への参加をしている高校生のことです。



「広島平和記念式典」へ中学生を派遣しています

市では国際平和への思いを引き継いでいくために、平成12年度から同式典に中学生を派遣しています。過去に参加した2人に、当時の思い出や、その経験を経て今思うことを伺いました。
※令和2・3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、派遣を中止しました

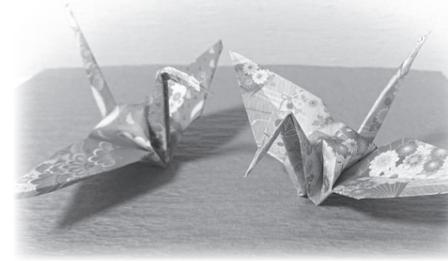


平和のために私ができること

佐々木中学校出身 石澤 貫さん

今から13年前に派遣事業に参加しました。平和記念資料館では、戦争や原爆の恐ろしさを学ぶとともに、式典への参加を通じて多くの方々の「平和への願い」を肌で感じました。非常に多くの学びがあり、価値のある経験となりました。

終戦から70年以上が経ち、日本での戦争経験者が少なくなる中、日本が同じ「過ち」を繰り返さないために、派遣事業で学んだことを後世に伝えていくなど、今私ができることを実践していきたいと思います。



次の世代へ

東中学校出身 神田涼平さん

私は15年前に式典に参加し、平和記念資料館で戦争当時の様子を再現した展示を見ました。金属が融解した展示物を見て核兵器の恐ろしさを強く感じ、平和の大切さを学びました。

私は親になり、守るべき家族がいます。そんな家族を守るためにも「平和の大切さ」を認識し、過去の惨劇を繰り返さないように次の世代に語り継いでいきたいです。

あの「アオギリ」は今

アオギリの樹は、広島に原子爆弾が投下された時、爆心地から1.3kmという近距離にあり、爆風と熱線の被害を強く受けました。しかし、翌年の春に再び芽吹き、人々の心に生きる勇気と希望を与えたことから、「平和の象徴」とされています。

市では昨年、戦後75年と市の核兵器廃絶平和推進基本条例制定10年の節目を記念して、広島から譲り受けたアオギリ2世の苗木の植樹式を行いました。現在、生涯学習センターの中庭で大雪や夏の暑さに負けず、たくましく成長しています。

このアオギリが「平和のバトン」となるよう、皆さんに成長を見守ってほしいと思います。

